

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科： 国語

科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者： () () ()

使用教科書： (第一学習社「高等学校 標準言語文化」)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、多文化・他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるように。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や多文化共生社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、また、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話・聞	書	読							
前期	どんかつ（三浦哲郎） 文学のしるべ	・謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。		○	○	・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について批評している。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。		○	○	○	8	
	道程（高村光太郎）	・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・近代詩の表現の技法とその効果について理解する。		○	○	・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。		○	○	○	8	
	定期考査							○	○		1	
	古文の学習 〔古典のしるべ〕平仮名の誕生	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・「古典のしるべ」を活用し、時間の経過による文字の変化について理解する。			○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・時間の経過等による文字の変化について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・我が国の言語文化に興味・関心を深めている。		○	○	○	6
	なよ竹のかぐや姫	・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。			○	○	・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって正格活用動詞の活用表を作成しようとしている。		○	○	○	10
定期考査							○	○		1		
後期	羅生門（芥川龍之介）	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。		○	○	○	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。		○	○	○	12
	「祭り」をテーマに随筆を書く	・我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。		○	○		・我が国の言語文化の特質について理解している。 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書くようとしている。		○	○	○	5
	定期考査							○	○		1	
	枕草子	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。			○	○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたもの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。		○	○	○	10
訓読に親しむ	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。			○	○	・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。		○	○	○	6	
定期考査							○	○		1		
合計										61		